

授業科目名	作曲法 I E	担当形態	演習 クラス分け		
		開講学期	春学期		
担当教員	松波 匠太郎	単位	1	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

和声学の基礎を学び、調性音楽の原理を理解することを目標とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

楽典の基礎知識を持っていることが望ましい。

＝授業の概要＝

4声体バス課題の演習を通して機能和声の理論を学びます。授業は演習の要素が大きいため、予習・復習をする習慣を身につけること。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス
- 2回 音階の音度と三和音について、根音、第三音、第五音について
- 3回 密集、開離と最高音について
- 4回 共通音のある三和音の連結について
- 5回 共通音のない三和音の連結について
- 6回 禁則について、各声部の音域について
- 7回 トニック、ドミナント、サブドミナントについて
- 8回 V→Iの連結と「限定進行音」について
- 9回 カデンツについて
- 10回 K1 課題
- 11回 K2 課題
- 12回 K3 課題
- 13回 複合カデンツ課題
- 14回 基本位置和音の連結まとめ
- 15回 総括

＝テキスト（必携）＝

島岡譲『和声 理論と実習 I』（音楽之友社）

＝参考書・参考資料（必携）＝

=成績評価の方法と評価の基準=

定期試験を主に、日頃授業時の添削、出席状況を加味し評価する。

=その他=